

入所申込書(1/2)

申込年月日		令和 年 月 日					
本人	フリガナ			明治・大正・昭和			
	氏名			生年月日	年 月 日(歳)	性別	男・女
	住所	郵便番号(-)		電話番号		()	
保険者名		(住所)		(電話番号)			
家族・申込者	フリガナ						
	氏名			続柄			備考
	住所	郵便番号(-)		携帯番号		()	
	その他の連絡先	郵便番号(-)		電話番号		()	
居宅介護 支援事業者	事業所名			事業者番号			
	所在地	郵便番号(-)		電話番号		()	
	フリガナ 担当者名			備考			
入院・入所先	施設名			施設種別			
	所在地	郵便番号(-)		電話番号		()	
	フリガナ 担当者名			備考			
他施設の 申込状況	施設名1			申込 予定・済 (申込時期 年 月頃)			
	施設名2			申込 予定・済 (申込時期 年 月頃)			
	施設名3			申込 予定・済 (申込時期 年 月頃)			

【説明確認及び同意書】

・入所申込から契約までの必要な手続き、入所順位決定方法、ならびに入所にあたっての注意事項について、施設から説明を受けました。

・申込書の内容に変化があった場合は、施設に連絡することについて同意します。

・入所可能な案内があつたにもかかわらず、自己都合により入所を辞退した場合は、入所順位名簿から削除されることに同意します。

・入所制度の適正な運用のため、この申込書及びそれらから作成した資料等を行政機関等の求めに応じて提供することに同意します。

・施設が居宅介護支援事業者へ入所申込者の状況について確認することに同意します。

・入所申込者が特例入所対象者である場合に、施設が介護保険の保険者である市町村へ特例入所の申込状況及び入所希望者の状況等について照会すること、また、当該市町村が担当の介護支援専門員等から入所申込者の状況等について確認することに同意します。

令和 年 月 日 氏名 _____ 印(続柄 _____)

施設記入	担当者名			職種	施設長・相談員・ケアマネ・その他()		
	受付番号			受付年月日	令和 年 月 日		
	備考						

入 所 申 込 書 (2 / 2)

介護認定	申請(更新・変更)中・済	被保険者番号	
要介護度	1・2・3・4・5	認定の有効期間	平成 年 月 日～令和 年 月 日
介護者の状況	該 当 す る 番 号 1 つ に ○ (□内は該当項目にチェック)	1. 身寄りがなく、介護する者がいない	
		2. 介護する者がいない (□ 介護者が長期入院・入所 □ 介護者が遠方に在住)	
		3. 介護する者はいるが、十分な介護力がない。 (介護者が □ 要介護状態 □ 病氣療養中 □ 障害がある)	
		4. 介護する者はいるが、介護にあたる時間を十分に確保できない。 (介護者が □ 要支援状態・高齢 □ 就労している □ 他にも介護している □ 育児している)	
		5. 介護する者はいるが、上記以外の理由で介護を行うことが困難である。	
		6. 1～5に該当しない(介護に欠ける状態ではない)。 ※ 上記を記入し、現在の家族状況、介護者の状況をご記入ください。	
入所者本人の状況	現 在 の 住 居 及 び 介 護 サ ー ビ ス の 利 用 状 況 (□内は該当項目にチェック)	1. 施設 □ 特養(□従来型 □ユニット型) □ 老健 □ 介護療養型 □ 養護 □ ケアハウス □ 認知症高齢者グループホーム □ 有料老人ホーム □ 救護・更生施設(保護施設) □ 障害者入所施設 □ 生活支援ハウス □ その他()	
		2. 病院 (病名: 入院: 平成 年 月から)	
		3. 在宅 □ 訪問介護 (□ 週4回以上 □ 週2～3回 □ 週1回) □ 訪問入浴介護 (□ 週1回以上) □ 訪問看護/訪問リハビリテーション (□ 週2回以上 □ 週1回) □ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 □ 夜間対応型訪問介護 □ 通所介護/通所リハビリテーション (□ 週2回以上 □ 週1回) □ 認知症対応型通所介護 □ 短期入所生活介護/療養介護 (最近3か月の利用日数合計 ____日) □ 小規模多機能型居宅介護 □ 複合型サービス	
		特例入所要件の有無	
		有 (詳細は別紙「特例入所申込書」のとおり) ・ 無	
		そ の 他	

特例入所申込書(入所申込書別紙)

下記のとおり、居宅において日常生活を営むことが困難なことについてやむを得ない事由があるので、特例入所の申立を行います、

令和 年 月 日

住 所	氏 名
被保険者番号	要介護度 1・2
入所申込先施設	

1 該当事項に☑をし、具体的状況を記載してください。

認知症である者であって、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られる。

知的障害・精神障害等を伴い、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さ等が頻繁に見られる。

家族等による深刻な虐待が疑われること等により、心身の安全・安心の確保が困難である。

単身世帯である、同居家族が高齢又は病弱である等により家族等による支援が期待できず、かつ、地域での介護サービスや生活支援の供給が不十分である。

(具体的状況)

2 担当の介護支援専門員意見

※「特例入所申込書」の書き方

1 要介護認定が1又は2の人が入所申込をする場合にのみ記入してください。

2 入所申込書を施設へ提出する際に一緒に提出してください。

3 「1. 該当事項に☑をし、具体的状況を…」

・4つの「☐」のうち、該当するものに☑をしてください。

・(具体的状況)は、特例入所の要件に該当しているかどうか、よくわかるように詳しく記入してください。

・表面に書き切れない場合は、裏面又は別紙に記入してください。

4 「2. 担当の介護支援専門員意見」

・担当の介護支援専門員(ケアマネ)の方に特例入所の要件に該当するかどうかの意見を記入してもらってください。

・表面に書き切れない場合は、裏面又は別紙に記入してください。

1 (具体的状況)

[Empty space for detailed description]

2 担当の介護支援専門員意見

[Empty space for professional opinion]